

つどい

第4号

発行日：令和3年11月

こんにちは！野木町交流センター「野木ホフマン館」です。
今回の「つどい第4号」でお届けしますのは、概ね次のとおりです。

- 「野木ホフマン館」の近況・事業
- 野木町煉瓦窯のおはなし その④
- 自然豊かな渡良瀬遊水地 その③

【ホフマン館の近況と事業】

野木町煉瓦窯の北側にある落葉高木メタセコイア並木も11月中旬頃から色鮮やかに紅葉を迎え、多方面から多くの方がメタセコイア並木道・煉瓦窯とのコラボ写真を撮りに来ます。この紅葉が終わりかけると落葉がはじまり並木道に絨毯が敷かれたようになります。この絨毯は随時片付けしますが、メタセコイア並木の紅葉を見に来ませんか。

ホフマン館の年間事業計画もコロナ渦の中で変更・中止を余儀なくされる事業があります。今後も十分に感染対策をし、事業を進めてまいりたいと思います。

今回は、6月12日に渡良瀬遊水地谷中湖で開催しました「渡良瀬遊水地釣り講座」の写真を紹介します。大自然の中、天気にも恵まれ、参加者全員釣ることができました。渡良瀬遊水地の一部ではありますが、自然を満喫できたかなと思っています。渡良瀬遊水地の中で、ゆっくりとした時間を過ごしてみませんか。



メタセコイア並木



メタセコイアと煉瓦窯

野木町煉瓦窯のおはなし その④

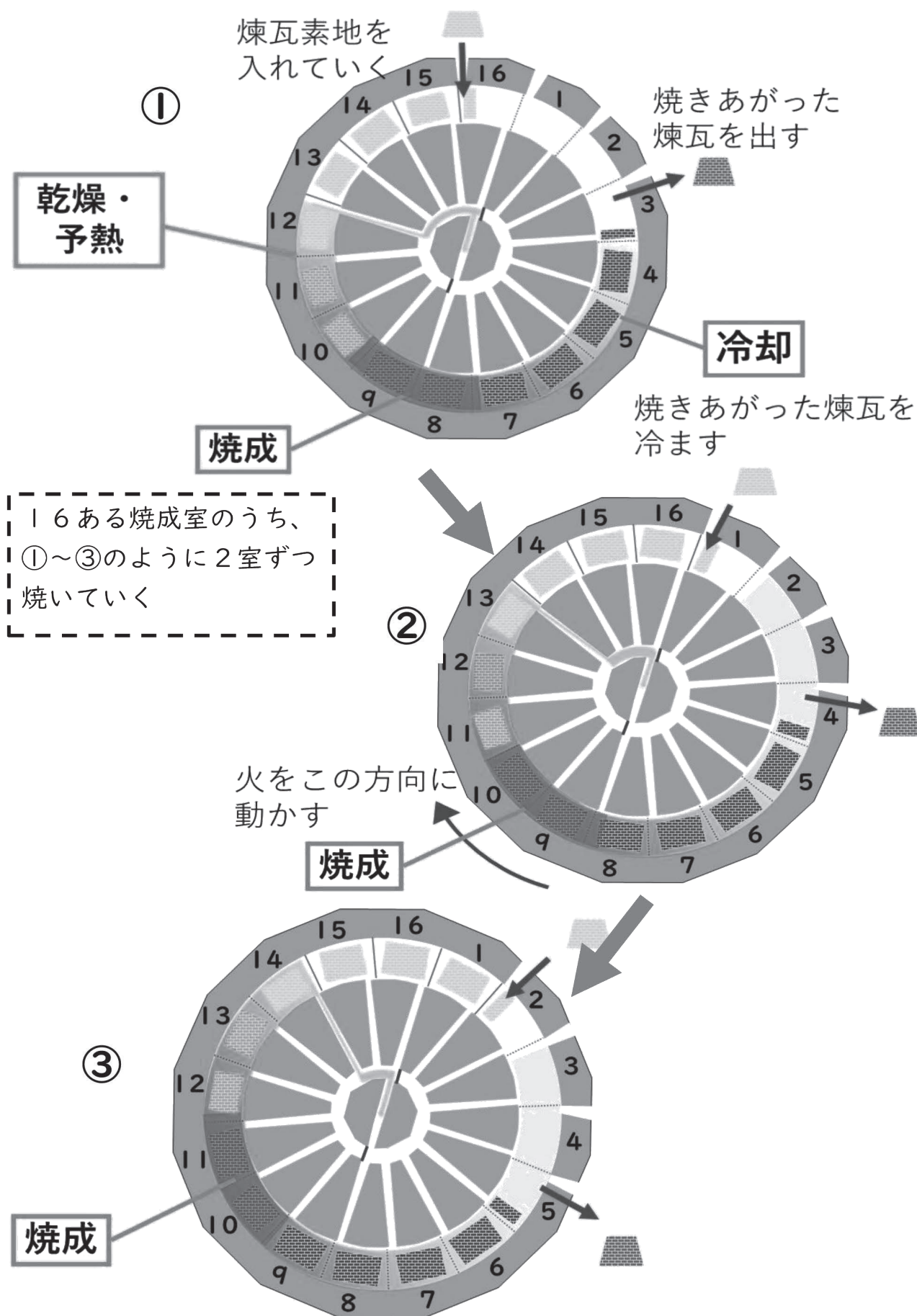
野木町煉瓦窯は、「ホフマン式輪窯（りんよう）」という形式で、ドイツ人技師フリードリヒ＝ホフマンが特許を取ったことによりこう呼ばれています。ホフマン窯は、煉瓦を焼く部分(焼成室)が煙突を囲むように連なって一つの大きな窯になっています。

ホフマン式輪窯は、火を止めずに連続して煉瓦を焼くことができるという特徴があります。火がついている焼成室の中の煉瓦が焼きあがったら、次の焼成室に火を移動させていくので、火の進行方向の、前方の焼成室には煉瓦素地(焼く前の煉瓦)を積み入れ、後方の焼成室から冷めた煉瓦を取り出します。窯の中でこの作業を繰り返し、煉瓦を焼いていきます。
(つづく)



写真：野木町煉瓦窯の焼成室のようす。このような焼成室が、中心にある煙突のまわりを取り囲むようにして作られています。

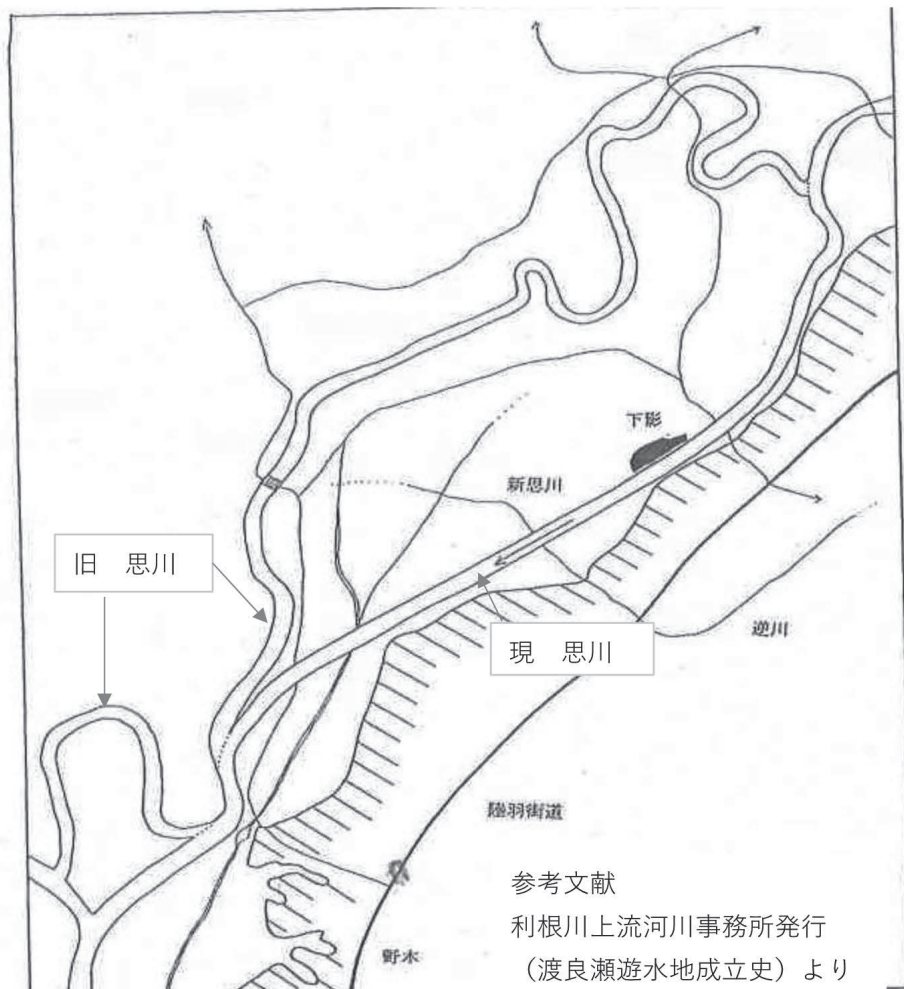
次ページ図：野木町煉瓦窯の焼成室を上から見た図。中心に煙突、外側が焼成室です。



自然豊かな渡良瀬遊水地 その③

渡良瀬遊水地の造成 ～遊水地化事業～

明治43年度から水害と鉾澤被害対策のため、国による渡良瀬川改修工事が始まりました。野木町を流れている「思川」も従来曲がりくねった河川から法線を定め、新河道を開削し、渡良瀬川への合流する河川となりました。（下記の図）この渡良瀬川改修工事は、他に渡良瀬川、巴波川、秋山川なども水害を減少させるための工事が行われ、全ての工事は大正15年度をもって竣工しました。渡良瀬遊水地は、治水対策、渡良瀬川などの改修の中心施設として位置付けされました。（つづく）



渡良瀬遊水地の近況

渡良瀬遊水地は、平成24年にラムサール条約「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」湿地に登録され、国内で確認できる野鳥の約半分の260種以上が確認されています。四季を通して多くの野鳥が見られますが、冬に飛来する野鳥も多く見られます。澄んだ青空が広がる遊水地に出かけませんか。

野木町交流センター

（野木ホフマン館）

開館日：火曜日～日曜日

9：00～18：00

（国民の祝日開館、翌平日閉館）

〒329-0114

野木町大字野木3324-10

☎ 0280-33-6667